

(4) 設備の状況

ア 高齢者等のための設備

高齢者等のための設備状況別住宅数をみると、「居住世帯のある住宅数」のうち「高齢者等のための設備がある住宅数」は3,042,300戸で、「設備がある割合」は47.0%となっている。平成20年と比較すると、「高齢者等のための設備がある住宅数」は378,900戸増加し、「設備がある割合」も2.2ポイント上昇している。

また、「65歳以上の世帯員がいる住宅数」のうち「高齢者等のための設備がある住宅数」は1,242,600戸で、「設備がある割合」は61.3%となっている。平成20年と比較すると、「高齢者等のための設備がある住宅数」は227,100戸増加しているが、「設備がある割合」は1.1ポイント低下している。「高齢者等のための設備がある住宅数」の内訳の「設備がある割合」をみると、「手すりがある」が50.4%で最も高く、次いで「またぎやすい高さの浴槽」が28.3%となっている。（表6、図6）

表6 高齢者等のための設備状況別住宅数

(単位：戸、%)

区分	東京都										全国			
	平成15年				平成20年				平成25年					
	居住世帯のある住宅数	設備がある割合	65歳以上の世帯員がいる住宅数	設備がある割合	居住世帯のある住宅数	設備がある割合	65歳以上の世帯員がいる住宅数	設備がある割合	居住世帯のある住宅数	設備がある割合	居住世帯のある住宅数	設備がある割合		
総数	5,434,100	-	1,498,300	-	5,939,900	-	1,627,900	-	6,472,600	-	2,025,700	-	52,102,200	-
高齢者等のための設備がある	1,812,600	33.4	781,400	52.2	2,663,400	44.8	1,015,500	62.4	3,042,300	47.0	1,242,600	61.3	26,544,300	50.9
手すりがある	1,314,000	24.2	640,800	42.8	1,892,700	31.9	827,200	50.8	2,255,600	34.8	1,021,200	50.4	21,233,900	40.8
またぎやすい高さの浴槽	773,300	14.2	363,100	24.2	1,247,900	21.0	520,200	32.0	1,305,200	20.2	573,300	28.3	10,763,500	20.7
廊下などが車いすで通行可能な幅	592,200	10.9	230,400	15.4	960,200	16.2	336,200	20.7	1,106,100	17.1	444,500	21.9	8,457,200	16.2
段差のない屋内	706,300	13.0	231,800	15.5	1,278,400	21.5	384,500	23.6	1,505,000	23.3	518,400	25.6	11,165,800	21.4
道路から玄関まで車いすで通行可能	573,800	10.6	209,300	14.0	976,300	16.4	315,800	19.4	1,112,100	17.2	411,700	20.3	6,436,300	12.4

注) 設備の内訳の合計は、複数回答であるため、「高齢者等のための設備がある」と一致しない。

図6 65歳以上の世帯員がいる住宅の高齢者等のための設備状況別割合

